

## 「源氏物語千年紀

慕って郭公が訪れて鳴く5月20日の話。源氏25歳の夏だった。

数多さぶらう桐壺帝の女御の中に麗景殿の女御という女君がいたが地味で子もなく、桐壺院じきあととはひっそりと暮らしていた。源氏は例によってそんな不遇な元女御たちの生活の面倒をみていた。その女御の妹の三の君(三女)で、父帝に

## 心安らぐ母性愛で終

五月雨の晴れ間のその日、源氏は麗景殿の女御の邸を訪れた。まずは律儀に姉の女御を御慰めし歌の贈答などしてから、妹のお部屋を訪れ、よもやま話をしつつこの夜はここに泊まる。「花散里」という呼び名はこのとき女御と交わした

この女性、ここでは人柄も容貌も描写されないが、しっとりとした優しい様子がかがた六条御息所(葵)や朧月君(賢木)のような重宝ととりとした巻の後で、その花橘の香にも淡泊さに心癒される

## USJで思い出づくり

## ボラン団体が旭学園を招待

和歌山市冬野の児童養護施設旭学園(中村通雄施設長)はこのほど、ボランティア団体の関西・子ども・夢チャリティー(黒飛一志代表)の協力で、大阪にユニバーサルスタジオに招待されて楽しいひとときを過ごした。

夢チャリティーは養護施設の子どもなどに夢を与えようと、USJへチャリティー招待する慈善団体。旭学園全員と大人サンタと呼ばれ

る一般ボランティアを含めて約200人が参加。子どもたちは待ち待ったUSJで目を輝かせながら楽しんでいった。

また、夢の実現を後押ししようと開かれたワークショップでは「夢は努力すれば必ず叶います。夢を諦めないで」と激励。子どもたちは「花屋さんになりたい」「保育士になりたい」と発表するなど将来の夢を膨らませていた。



USJで思い出を作った子どもたち

## 普段から注意を

## 貴志地区で振り込め詐欺の街頭啓発

桑原徹也教諭(30)は「子どもたちが生き生きとしていました。本当に」と話した。

チラシやティッシュ、自

転車盗難防止カバーなど啓発グッズを手渡した。参加者や警察官が

「被害が多発しているから注意するように。怪しい電話は相談して」と呼

振り込め詐欺撲滅強

スパーウジタ延時店

行のATMコーナーや

い電話は相談して」と呼

ビ目割り一袋と、口飲口

り主目易で旨頁各各互

言目金匡、司く、パ

ボハナラニアソアミを